

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

82

農林水産課

補助金の名称 (規則・要綱名)	漁業近代化資金等利子補給費補助金 農林水産関係事業補助金交付要綱			
補助事業の概要 及び交付先	愛知県知事の承認を受けた漁業近代化資金に対し、市が利子補給の措置を講じ、長期かつ低利の融資を円滑にし、漁業者の資本整備の高度化を図る。交付先:愛知県信用漁業協同組合連合会等の融資機関			
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算	
	2,093,784円	2,560,000円	2,382,000円	
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類	
	市単独補助金	継続的補助金	利子補給金	
交付期間	開始年度	H30	終了年度(予定)	H34
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切	
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの	
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確	
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切	
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		*****	
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		*****	
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金	
	0円	0円	0円	
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		*****	
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		*****	
	※ 検討していない理由	*****		
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か			
	※ 補助対象経費の額			
(3) 人件費補助金 (積算内訳)	*****			
3 今後の方向性				
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している	

補助金の名称 (規則・要綱名)	漁業近代化資金等利子補給費補助金 農林水産関係事業補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	1 産業振興 活力と魅力あふれる産業づくり
	項による分類	4 農・水産業
	施策内容による分類	4 担い手の育成
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載)	うなぎ種苗購入のための借入者は前回実施実績から年平均8名貸し付けているので、終了年度の平成34年度までに40名への貸し付けを目標とする。一方漁船やエンジン購入のための借入者については、前回実施実績から年平均8名貸し付けているが、現在漁船漁業を営んでいる漁業者の約半数がエンジンの入替を完了しているため、年平均4名の20名を目標とする。合計40名+20名=60名。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	平成30年6月末までの新規借入者はうなぎ漁業者7名、漁船漁業者7名で合計14名。14÷60=23%	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	進捗が見られる
⑤補助の恩恵を受ける人(受益者)を記載してください。	直接補助を受けるのは、漁業近代化資金借入者であるが、漁船やエンジン、うなぎ種苗の購入を支援することで、漁業者の資本装備の高度化及び経営の近代化が促進され、漁獲量及び生産量の増大が図られるため、消費者も恩恵を受けることができる。	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	愛知県信用漁業協同組合連合会(本所、西三河支所、衣崎支所、一色うなぎ支所、幡豆営業店、東幡豆支所)	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	漁船やエンジン、うなぎの種苗等の購入は高額であるため、漁業者の負担が大きい。特にうなぎの種苗の価格は年変動が大きく、金利が高ければさらに漁業者の負担が増大する。そこで、利子補給を行うことで、意欲ある漁業者が漁業近代化資金を利用しやすくなる効果がある。これにより、水産物の安定供給の確保、省エネ機器の導入による生産コストの減少が図られるため、消費者に水産物を安定かつ低価格で提供することができる。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	利子額を計算した漁業近代化利子補給リストの提出を求め、提出書類の審査をしている。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成23年04月01日
	改定年月日(最終)	平成30年04月01日

補助金見直し基準補足調査票 (第5次実行計画)

82

農林水産課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	2,093,784円	1,449,982円	2,382,000円	
	補助件数	9件	10件	12件	
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源	2,093,784円	1,449,982円	2,382,000円
国庫県費等の名称					

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
C	C	C	C	C	D	C
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	見直し		1人当たりの補助額が少額であり、他の漁業振興策を検討していただきたい。			
補助金等検討委員会の主な意見						
市と金融機関等の事務負担を考慮すれば、補助制度を一旦廃止し、高金利になった場合に再度補助制度を検討すればよいと考える。						